

鹿児島地区で地区懇談会

◆【全国発信記事】鹿児島支部

鹿児島地区懇談会 — 活発な意見交換で理解を深める —

令和3年9月8日15時から鹿児島支部2階会議室において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、鹿児島地区大会を開催したが、出席者が少なく、組合格約に定める地区大会の成立要件が満たされなかったため、地区懇談会に切り替え、出席した現場組合員と意見交換を行った

はじめに二神健太鹿児島支部次長が「新型コロナウイルス感染症がまん延する状況下ではあるが、海運・水産業は、いまだ多くの問題が山積しており、今後、船員政策の実現に向け、さまざまな活動を行っていかねばならない。第82回定期全国大会に向けて、地域事情を踏まえた現場意見を中心に、意見交換をお願いしたい」とあいさつした。

次に鶴田浩平執行部員から第76年度の鹿児島支部の活動報告を行い、続いて二神次長より第77年度活動方針案について説明した後、意見交換を行った。

意見交換では

- ▽フェリー・旅客船における新型コロナウイルス感染症の感染状況について
 - ▽各社における女性船員の採用状況と増加に向けた取り組みについて
 - ▽環境規制への対応に関する組合の取り組みについて
 - ▽体験乗船の実施状況について
 - ▽船員の高齢化と年金支給開始年齢との関係性について
- 一などの質問・意見があり、これらの意見について執行部より説明を行うことで理解を深め、出席した組合員との団結を確認し鹿児島地区懇談会を終了した。

「海員だより」